

春の火災予防運動実施中

～消すまでは 心の警報 ONのまま～

消防かわら版

平成26年4月

春の火災予防運動

小さな炎が 大火へつながる



ゴミ焼きを
してはいけません

消防では毎年四月二十日
から三十日まで「春の全道
火災予防運動」を実施して
います。雪解けをむかえて
から緑が生い茂るまでの期
間は例年野火や山火事が集
中して発生しています。

また、春は風が強く空気も
乾燥しているため小さな炎も
大火へとつながる恐れがあり
ます。火の用心は私たちの心
がけが大切です。私たちの街
のぼりべつから悲惨な火事を
無くしましょう。

火事をふせぐためのポイント



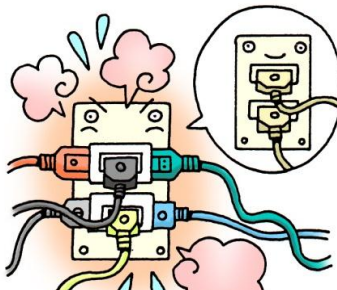
料理の途中で
離れるときは必ず
火・スイッチを切る



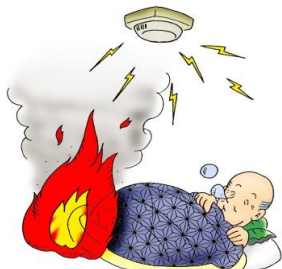
寝たばこ厳禁



暖房器具の周りに
燃えるものを
置かない



たこ足配線をしない



住宅用火災警報器
必ず設置する！！



放火されない環境に！

火の用心 野山も街も わが家でも



火事と救急は119番 火災等の情報案内は88-1515番

登別市消防本部・登別市消防署

85-9611

85-2551



住宅用火災警報器

日頃から点検をしましょう！

「いざ」という時のために

住宅用火災警報器（住警器）は「住宅防火の決り」です。24時間休むことなく火の監視をして、異常があればいち早く周囲に知らせることによって火事の初期段階での消火や、速やかな避難を促してくれます。



私たちの生活を見守る住警器ですが、いざという時に正常に作動するところがとても重要です。日頃から点検やお手入れを正しく維持管理をしましょう。

とぎとぎ清掃をしましょう

住警器にほこりなどは付着していませんか？汚れやゴミによって住警器が正しく作動しない可能性があります。ゴミやほこりを取りのぞくなどの清掃を行います。



異常を感知する部分にゴミがついていると住警器の反応が悪くなる可能性があります

汚れは中性洗剤を含ませ十分に絞った布で軽くふき取ります。細かい清掃方法については取扱説明書をください。

定期的に作動を確認しましょう

点検用のボタンやひもを使って作動を確認し、家族全員が作動している時の警報音を聞いてみましょう。点検しても音が鳴らない、異常が無いのに音が鳴るようになった時は電池が切れたり住警器が故障している場合があります。取扱説明書を確認しましょう。



高いところの作業は転倒や落下に十分注意してください

未設置世帯は速やかに設置してください。

消防法・登別市火災予防条例により住警器の設置は義務化されています。速やかに設置してください。